

一般質問

(4ページ～6ページ)

9月2日・5日・6日・7日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

- (みどり・市民) みどり・市民ネット
- (日本共産党) 日本共産党小金井市議団
- (民主・社民) 民主党・社民クラブ
- (公明党) 小金井市議会公明党
- (自民党小金井) 自由民主党小金井市議団
- (改革連合) 改革連合
- (市民会議) こがねい市民会議

市長の市政運営を問う

武井正明(民主・社民)

市長の市政運営について(ア)新庁舎建設について平成25年着工平成27年中に完成と新聞発表しているが事業費60億円をどう調達するのか。(イ)ごみの広域支援は市長の4



年間20億円のムダ使い発言で11月以降の受入れ先が見つからない。どう考えているか。(ウ)市民交流センター取得の賛否を問う投票条例(案)のパブリックコメント

に關し7月15日市報に掲載したがまだ予算も可決していないのに掲載をするのはどうか。(エ)最後は撤回したが月額79万7千円で部長職を政策調整監として採用したいとしたことは条例違反ではないか。

庁舎建設等担当部長 (ア)財源計画は今後詰めた。

市長 (イ)私の発言で迷惑をかけたおり全力をあげたい。(ウ)条例制定の必要な作業だった。(エ)事前にもう少し意見を聞くべきだった。

小金井を災害に強いまちにする取組を問う

鈴木成夫(民主・社民)

①支援を決めた大船渡市の支援はなぜ進まないのか。

市長 復興、復旧の過程は現在進行形。息の長い支援が大事と思う。9月から大船渡市にどうい



支援ができるか考えたい。社会福祉協議会は、市民ボランティア派遣を調整していると聞いている。

②震災時の消防団員の行動マニュアルはあるのか。

消防団長の要請を受け、小金井消防署の協力のもと、6月に素案を作り、分団内の協議を経て、分団長会議で決定する予定。

③発達支援策推進体制の整備は進んでいるか。

子ども家庭部長 特別支援ネットワーク協議会構成員の方にご協力いただき、テーマを発達支援に絞り、意見交換ができる場所を作

ごみ問題解決に向けて

露口哲治(自民党小金井)

本年度ごみ処理支援の見通しは、9月まで進展が無い。佐藤市長は原因といわれているごみ処理「稲葉市政4年間で20億円のムダ使用」との主張を訂正・撤回し、さ



らに前市政の方針を継承することとした。しかし、多摩各市からご理解を得るに至っていない。小金井市のごみ問題解決に関して、前市長への多摩各市からの信頼は厚い。(ア)国分寺市への具体的な行動

を起すべきだ。(イ)現状を市民へ説明すべきだ。(ウ)前市長に協力を仰ぐべきではないか。

市長 (ア)新ごみ処理施設の建設場所の確保が難航している厳しい状況の中で慎重に対応したい。(イ)市民へは説明する機会を設けたい。(ウ)前市長へお願いする機会を与えられればそうしたいが、まずは私が最大限の努力をし、汗をかきと考

大規模災害に備え桜の里ネットワーク構築を

小林正樹(公明党)

①大規模な災害を想定し、遠隔二助(遠隔都市との自治体間共助)協定を結ぶべきである。例えば桜のつながりを活かす桜の里ネットワーク協議会を作らないか。

市長 桜の里を通じての縁も大切にしたい。積極的に検討したい。

総務部長 文化交流、人的交流を通じて他の自治体と積極的な都市間交流を推進していく中で、関係課とも検討したい。



②震災対策用井戸の更なる活用について。(ア)要綱に則り井戸の整備は行われているか。(イ)揚水機用の発電機の準備はできているか。(ウ)帰宅困難者に開放できないか。

総務部長 (ア)要綱に基づいて水質検査も行っている。(イ)用意はできているが、提案のような訓練やマニュアル化等を検討したい。

総務課長 (ウ)どういう形で対応できるか検討したい。

東小金井駅北口周辺整備と区画整理について

中山克己(自民党小金井)

駅周辺ではバリアフリーの推進を。(ア)区画整理の平成31年度までの事業延伸予定の中で計画的実施と優先順位の徹底で地権者の生活設計に支障がないよう配慮を。(イ)



JRラインモール構想への対応は。開発事業本部長 (ア)まちづくり協議会でもバリアフリーに配慮する方針で検討を行ってきた。障害者団体の方々からも直接ご意見を聞く機会を設け努めている。駅北

都市整備部長 (イ)JRとは法律をクリアしながら地元との影響を最小限度にするよう調整してゆく。

他に『政策調整監設置の撤回と行政運営』『可燃ごみ処理の課題と今後の行政対応』を質問した。

東小金井駅北口区画整理の進捗と完了を問う

宮崎晴光(民主・社民)

北口区画整理につき(ア)進捗率は。(イ)税収落ち込みの影響は。(ウ)西口改札口の影響は。(エ)現状の問題は。(オ)清算金の見通しは。(カ)計画延伸の財政負担は。(キ)完了手続きは。



開発事業本部長 (ア)昨年度末で約20%、23年度事業は8割着手済。(イ)平成31年度まで延伸予定もその後は不明。(ウ)市はJR東日本に6月に、交通動線等の地元との合意を守る様に要望書を出し、関係各

課で対策会議を設置し影響を抑える様対応中。(エ)現時点で移転が進んでいない所もある一方、早く進めてほしい要望もある。責任を持って対処したい。(オ)厳しい質問だが、一定のご理解を頂いている。

(ウ)延伸しても基本的に変化は無い。(キ)全ての工事・移転が終了した後清算金の確定と徴収・交付を行うが、これらについては、それぞれの基準を定めて行う。

行財政改革を断固進めないか

宮下 誠(公明党)

①学童保育の夜の時間延長を求める声は多い。稲葉前市長は、民間委託を進める中で実現しようとしてきた。市の厳しい経営状況の下、行革の観点から取り組み、時



間延長を実現すべきではないか。子ども家庭部長 アンケート結果では、夜7時まで延長した場合236人が利用したいとのことだった。有料でもという方も200人いた。

市長 昨年度、保護者の理解が得られず、民間委託ができなかった経緯も踏まえ、学童保育所運営協議会等のご意見を踏まえて今後検討していくことになる。

②小学校の給食調理業務の民間委託を、きちんと進めていくのか。

市長 今、重要な時期に来ていて。慎重に判断すべき。総合的に考えて判断しなければならぬ。その他、スポーツ推進環境の更なる向上を求めた。